

第10章 地域との連携

10-1 地域連携を巡る動き

河川を基軸とした地域づくり・まちづくりや河川をフィールドとした地域活動及びこれによる人材育成が官民協働で活発に行われており、平成17年1月の市町村合併により、更に交流が盛んになってきている。

10-2 地域連携における現在の取り組み

松浦川が有する風光明媚で自然豊かな河川環境を利用して、地域づくりや環境学習、イベント等が盛んに行われている。

このため、松浦川の河川清掃や環境学習・イベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、年齢を問わず安全に多数の地域住民が参加できるよう、また、情報を共有できるよう、これらの活動に必要な河川情報を提供する等の支援を行っている。

【環境学習・清掃活動】



松浦川においては多くの住民団体が環境学習及び河川愛護の啓発活動の一環として、河川の生物調査や清掃・美化活動を行っている。

【アザメの会活動】



松浦川中流部で行われている「アザメの瀬自然再生事業」を軸に、川と人とのつながりを次世代に引き継ぐことを目的として、「イダ嵐」「堤がえし」等の風習など、学習活動を行っている。

【巖木アユ祭り】



巖木川の上流において、水遊びを通じて、河川環境美化や水資源保護の意識高揚を目的として開催される。

【松浦川ゴミマップ及びホットニュース】



松浦川における、情報発信手段のひとつとして「武雄河川事務所ホットニュース」を作成し、地元住民や道の駅等で配布している。

10 - 3 地域連携における今後の取り組み

松浦川における広域的な活動拠点のネットワークを形成し、地域間の交流や利活用を促進することを目標に、地域の魅力と活力を引き出す積極的な河川管理を行う。そのため、河川に関する情報を地域住民と幅広く共有し、防災学習、河川の利用に関する安全教育、環境教育などの充実を図るとともに、住民参加による河川清掃、河川愛護活動等を更に推進する。また、観光都市唐津の観光拠点としての利用や、ボートなどスポーツ・レジャーとしての利用、またアザメの瀬など学習空間としての利用など、これらの水辺拠点の保全・整備を図り、地域間の交流・利活用を促進することで人と川のつながりを再構築に努める。